

広報 さとうきび増収

サトウキビ単収8トンを取りを目指して！！基本技術の励行で単収向上に努めよう！！

早春の候、さとうきび生産者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

25/26年産さとうきびの集荷も12月10日より始まり、約6割の集荷を終えました。集荷状況、異物混入防止、株出管理の適期についてまとめておりますのでご一読下さい。

『平成25年産さとうきび生産見込みと集荷状況！！』

3月9日現在の買入甘蔗糖度は平均 13.32度と、例年に比べ甘蔗糖度は高い状況です。出荷に際しては、**割当量の厳守**をお願い致します。

【平成25年産さとうきび生産見込み数量(3月9日現在)】

市町	年期	収穫面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	買入糖度 (3/9日現在)
西之表	25年産	807	6,050	48,824	13.23
	24年産	841	5,345	44,949	13.61
	対比(%)	96.0	113.2	108.6	97.2
中種子	25年産	1,401	7,500	105,075	13.35
	24年産	1,441	5,662	81,588	13.63
	対比(%)	97.2	132.5	128.8	97.9
南種子	25年産	500	6,850	34,250	13.33
	24年産	506	5,498	27,822	13.53
	対比(%)	98.8	124.6	123.1	98.5
合計	25年産	2,708	6,948	188,149	13.32
	24年産	2,788	5,537	154,359	13.60
	対比(%)	97.1	125.5	121.9	97.90

※24年産の収穫面積、単収、生産量については最終実績。買入糖度については、3月9日現在の値。



『異物混入防止について！！』

異物混入防止に協力を！工場停止の原因に！
 『出荷前に、もう一度確認！！鎌・鋏の置き忘れ』

工場では圧搾する前に金属検出機を設置して異物混入対策を行っています。今年度も、鎌・鋏・鉄パイプ類が、原料と一緒に搬入され非常に困っている状況です。



【金属検出器作動回数 3月9日現在】

内 容 物								累計回数
鉄くず 鋸類	鎌・鋏	パイプ類	リング類	針金類	空き缶	銀紙	その他	
136	61	24	10	37	18	5	152	443

昨年同時期 406回

『最終集荷予定日が4月30日に変更になりました！！』



3月1日現在における生産見込み数量の見直しを行いました！！

2/1日の原料生産見込量182,534トンに対して、5,615トン増の188,149トンへ上方修正をし、最終集荷予定日が**4月30日**となっています。

生産者の皆様には、収穫・株出管理作業等大変ですが、よろしくお願い致します。

『農林8号株出管理の適期時期！！』



収穫後、早期の株出管理・マルチ被覆で増収します！！

さとうきびの「農林8号」においては、刈取後1ヶ月以内に株出管理(株揃え、根切り・排土、施肥、薬剤散布、マルチ張り)を行うことで、萌芽や初期生育が良好で、原料茎数が多く確保できる為、**安定して多収**が確保できます。

【管理作業の実施時期による収量の違い】

◎ 管理時期別の原料茎重は、刈取り直後実施と1ヶ月後実施ではほとんど差はみられないが、2ヶ月後実施では大幅に減収します。

◎ 1~3月刈取り後、1ヶ月以内に株出管理を行うことが、株出栽培の安定多収につながります。*刈取時期及び株出管理時期が生育、収量に及ぼす影響(平成18年調査)熊本支場

管理作業時期	12月		1月		2月		3月	
	kg/10a	%	kg/10a	%	kg/10a	%	kg/10a	%
刈取り直後	8,633	100	9,222	100	11,222	100	9,826	100
刈取り1ヶ月後	7,319	85	9,236	100	10,028	89	9,104	93
刈取り2ヶ月後	6,478	75	8,267	90	6,694	60	7,611	77

『さとうきび増産基金事業について！！』



26年度もさとうきびの増産に向けた取組への支援があります！！



今年度も、『さとうきびのポリマルチに限り、回収処分費用を新光糖業株式会社で負担します。』

- ①地力増進対策：土づくり、深耕・心土破碎
堆肥等有機物の購入費助成
土壌改良資材の購入費助成等
- ②肥培管理対策：マルチ資材の購入費助成等

各市町で対象対策等、違うものもあります。
 増産基金事業を活用して、**生産回復**に努めましょう。